

オジャマシマス

ボランティア活動グループ訪問記



「はこあぼこ」の強みや個性を生かして
生活介護事業所「ほこあぼこ」

やっしゅんむむおほい

気持ちよく晴れあがった

10月30日(火) 横山公園

近くの住宅街にある生活

介護事業所「ほこあぼこ」

を訪問しました。開所から5年目、主に重度知的障がい、身体障がいの方のための通所介護の施設です。今日は所長の大川達雄さんにお話しとご案内をいただきました。

利用者の方は現在在籍26名、週に1度ぐらいの利用の方もいて1日平均15名ほど。18歳以上で支援学校の卒業生など20代の方が多く、施設の送迎の車で通所、1日を「ぼこあぼこ」が。

午前中は主に作業や仕事、そして事業所内の厨房で作ったお昼ご飯を食べ、午後はそれぞれ好きなことや外出プログラムなどを中心に活動しているとのこと。活動室、分室、厨房・カフェの3カ所が作業場所ですが、作業に障がいを合わせるのではなく、ひとりひとりの個性や強みを活かして、自分に合ったことを楽しんで仕事にできるような職場のかたが配慮しています。そ



所長の大川さん

うして生まれた自主製作品は、併設のカフェのほかあじさい会館1階のバオバブなどに自分たちで納品、接客もしており、私たちも知らぬうちに手に取



ったり、お会いしたこともあってもお会いしません！ほかにも畑作業、受託作業、カフェの調理や接客にも取り組み、収益はお給料として利用者の方へ。本人の励みになるだけでなく、成長を感じ、社会につながる活動の証として家族の喜びにもなっているそうです。

活動室は、何人も集える机やパネルで仕切った机、隅の一角を向いた机などがあり、それぞれが安心して「自分の居場所」で作業に臨める場づくりが工夫されています。室内には、自主製作品の入浴剤を入れるハーブがふんわりいい香り。また、別棟の公室では、織りかけの布が掛かった機織り機が置かれています。午後の余暇の時間にのんびり昼寝をする方や、タブレットでお気に入りのアニメを楽しむ方も。見学の私たちにも嬉しいように画面を見せてくれたり戸口まで見送ってくれたり、笑顔が心に沁みまわりました。

入口が活動室の向かいのカフェ「booaaboo」は道路に面しており、一般の方も利用できます。おすすめは何種類もある手作りの「ぼこあぼこ」ケーキ。入口近くにある棚には利用者の方が作った入浴剤やコースター、手作りのポチ袋などがラベル付きで包装されて販売されています。ラベルの文字は書くのが得意な利用者さんのもの。交流のある他の事業所の製品も並べられ、あれこれ手に取りたくなりました。



カフェの店内

そしてカフェで一番目を引くのは壁一面に貼られた利用者の方々の写真。いろいろな活動や余暇時間の場面ですが、みんな心の底から楽しそうな笑顔、笑顔…

眺める私たちが思わず幸せな気分になってしまつような表情が溢れています。説明の言葉がなくてもここの毎日の心地よさが伝わってきました。

また、カフェのこのスペースは、地域の方たちに貸し出しもしているとのこと。自治会の集まりや近隣の主婦の方のワークショップの会場、地域包括支援センターの高齢者の集まりなどに場を提供、地域に貢献することで「ほこあぼこ」に対する理解を深めてもらうことを目指し、設立以来、地域と積極的に繋がっていくことを大切にしているとのこと。

熱心に力強く事業所の話を聞かせてくださった大川さんは、この後、利用者の方を送る運転のお仕事へ。お忙しい中時間を割いていただき、本当にありがとうございました。私たちが今日の天気には負けない晴れ渡った気持ちで「ほこあぼこ」を後にしました。

(小山・杉崎)

※ボコーポコー音楽用語「イタリア語で「少しずつ」という意味。



自主製品～入浴剤とコースター



*社会福祉法人かむ

生活介護事業所 ほこあぼこ

所長：大川達雄

〒252-0241 相模原市中央区横山台2-6-11

TEL: 042-707-0551

FAX: 042-707-1982

URL: <https://shahukucam.sakura.ne.jp>